



ひらかわ

市議会だより

令和6年
3月定例会

第74号

令和6年(2024年)
6月15日発行

3月定例会 (3/4~3/22...19日間)

[本会議] 3月4日・22日...議案審議
3月7日・11日・12日...一般質問

[常任委員会]
3月13日 総務企画・建設経済・教育民生

[予算特別委員会]
3月15日・18日・21日

Contents 主な内容

- 令和6年度予算審査 2
- 一般質問 6
- 議決結果 12

事業予算の使い方やこれまでの実績など、予算特別委員会では多くの質疑がありました。

事業予算の使い方や算出方法が適正かどうか、全議員で慎重に審査しました。



石田昭弘 副委員長



齋藤 剛 委員長



福祉・医療

居宅介護福祉用具購入費負担金

葛西厚平 議員

事業内容は。

答 弁

居宅介護福祉用具購入費は、要介護、要支援認定を受けている方が在宅での入浴補助のためのシャワーチェアや排せつに使用するポータブルトイレ等の福祉用具を購入した場合、同年度で10万円を上限として購入費の9割から7割が支給されるサービスとなる。



生活扶助等

原田 淳 議員

- ①対象世帯数とその人数は。
- ②市の負担額等は。

答 弁

- ①令和5年4月から令和6年2月までの平均値で、世帯数は353世帯、人数は404人。
- ②扶助費総額の4分の1が市の負担、残りの4分の3は国の負担となる。令和6年度予算案の生活扶助等の歳出予算額は2億5,350万1,000円となり、このうち市の負担額は約6,300万円となる。



医療的ケア児保育支援事業補助金

桑田公憲 議員

- ①補助の内容は。
- ②受入見込み施設はどこか。

答 弁

- ①喀たん吸引やインスリン注射などの医療的ケアを必要とする子供の保育所等における受入れ体制を整備するため、市内の保育所等に対し、看護師などの医療職や補助者の配置に要する費用について、1施設当たり年間752万2,000円を上限に補助するもの。補助者の配置に対する国の基準額が6万2,000円増額となったこと、市内の受入見込み施設が1施設から2施設へ増えたことで増額している。
- ②平賀保育園とこども園あらやの2施設となる。



小規模除雪事業支援補助金

石田昭弘 議員

- ①事業概要は。
- ②かさ上げ助成の経緯は。

答 弁

- ①近隣に身寄りのない高齢者、また、障がいをお持ちで自分では除雪が難しい方などを対象に、町会がそのニーズや相談に応じて、置き雪除雪や生活用通路を確保するために行う、町会を主体とした共助の除雪事業となる。令和4年度は27町会が実施しており、作業内容や費用は、町会によって異なる。
- ②各町会から少し増額できないかという意見があったことから、現在、社会福祉協議会が行っている額と同額に設定している。



徹底審査！ 私たちのお金の使い道

令和6年度予算審査となる予算特別委員会は、3月15日・18日・21日に開催しました。委員長には齋藤 剛議員、副委員長には石田昭弘議員が選任され、審査しました。

平川市議会中継はこちら





産業・観光

放任園対策委託料

工藤秀一 議員



- ①県と市の負担割合は。
- ②予算額上の伐採面積は。
- ③不足する場合の対応は。

答 弁

- ①放任園等の発生調査を行う、放任園の発生防止等対策指導事業は、県と市で2分の1ずつ負担する。放任園の伐採等を行う、放任樹処理対策事業は、県が対象事業費の2分の1または10アール当たり2万2,342円のいずれか低い額を負担し、市はその残額を負担する。
- ②50アールの園地、3回分で予算計上している。
- ③放任園の発生状況によるため、その都度対応する。

観光協会補助金

福士 稔 議員



- ①内訳は。
- ②観光協会からの要望額は。

原田 淳 議員



- ③事業費補助について。
- ④増減額理由は。

答 弁

- ①人件費補助、管理費補助、事業費補助の3項目で構成され、人件費補助が2,317万4,000円、管理費補助が423万1,000円、事業費補助が878万5,000円。
- ②要望額965万7,000円に対し、今回の補助金が878万5,000円を計上。
- ③さくらまつり、蓮の花まつりをはじめとするイベント、情報発信に必要な費用、新規分として盛美園のライトアップに使う経費などが含まれている。
- ④人件費では、正職員の1名増、給与体系の見直しにより、前年度比で383万3,000円を増額。管理費では、経理体制を強化するための公認会計士のサポート料及び会計ソフト、大型プリンター等の導入費用、観光プロモーションのための旅費などを見込み、前年度比で137万2,000円を増額。事業費では、既存イベントに関わる経費のほか、新規事業分を計上。例年開催しているイベントの経費の見直しや、イベント時の協賛金や事業収入の増を見込み、前年度比で48万2,000円を減額している。

グリーン・ツーリズム推進事業補助金

石田昭弘 議員



- ①1件分となった減額理由は。
- ②申請者を増やすための手だては。

答 弁

- ①グリーン・ツーリズムを推進するため、ファームステイの受入れ農家の拡充を目的に、旅館業の営業許可申請の手数料に対して助成するもの。近年の申請者の実績を踏まえ、令和6年度は1件分を計上。
- ②受入れ農家の負担軽減により、受入れ農家数の維持、増加につながるよう、令和4年度から受入れ1回につき5,000円を助成するグリーン・ツーリズム受入農家応援事業を実施している。このほか、ホームページ等で活動を紹介するなどの取組を進める。

観光誘客ビジョン策定業務委託料

山谷洋朗 議員



- ①具体的な業務内容は。

原田 淳 議員



- ②事業の実施時期は。
- ③前年度比の金額について。

答 弁

- ①主たる観光資源の1つである猿賀公園エリアについて新たな楽しみ方の創出や高付加価値化を図り、さらなる観光地化を目指すための可能性と具体策を調査し、施策展開の指針となるビジョンを策定するもの。内容は、イベントや体験メニューの充実に係るものや、エリア内の植栽や利用が低下している施設の利活用についても検討して、報告書として提出するものとなる。
- ②令和6年度単年度での実施を予定。
- ③令和5年度当初予算に計上していたが、令和5年6月の補正予算で減額した。



第43回平川さくらまつり



市の姿勢・まちづくり

防災行政無線大規模更新委託料

福士 稔 議員

①内容と更新箇所数は。

葛西 勇人 議員

- ②避難所状況を知らせるアプリは復活するのか。
- ③更新時、防災無線の停止の有無、停止期間は。

答 弁

- ①令和6年度に9,920万4,000円、令和7年度に2億3,147万5,000円を予定している。主な内容は、親局などの送信装置やアンテナなどの更新、子局バッテリーの更新などを行う。豪雨や屋外作業中など騒音下でも聞き取りやすい新機能を導入する。全箇所に対応する予定。
- ②更新に含まれていない。
- ③停止する際は最小限の期間となるよう努める。



集落支援業務委託料

桑田 公憲 議員

①委託先と事業内容は。

②事業の内訳は。

工藤 秀一 議員

③東部地区や碓ヶ関地域などで実施する考えは。

答 弁

- ①一般社団法人平川市西地区まちづくり委員会の委員を集落支援員として委嘱し、同委員会に委託するもの。来年度は、地域の維持活性化対策として、集落支援員が実施する内容のもの取組を予定している。
- ②休耕地を活用した市民農園の運営、トラクター等を活用した小規模の除雪、研修を見込んでいる。
- ③新たな人材の掘り起こしという課題を考慮しつつ、他地区への導入も検討する。



消防団員準中型自動車免許等取得費補助金

葛西 厚平 議員

令和5年度の実績と令和6年度の見込み、補助率は。

答 弁

令和元年12月から令和4年度までは申請はなく、令和5年度は2名から申請があった。令和6年度は3名分を見込んでいる。補助率は100%で、上限額が18万4,000円となる。



A I デマンド交通運行車両購入等補助金

佐藤 保 議員

①補助金の内容は。

②車両の運用について。

③運行時期は。

答 弁

- ①交通導入運行事業で実施する予定の車両の購入、ラッピングに要する費用を補助するもので、7人乗りの乗用車3台を見込んでいる。
- ②車両は運行事業者となる株式会社平賀ハイヤーの所有となるが、A I デマンド交通のみに使用するよう制限をかける予定。
- ③令和6年12月からの運行を目指す。



地域おこし協力隊事業委託料

葛西 勇人 議員

①具体的な業務内容は。

②活動期間は。

③応募者が来なかった場合の対応は。

答 弁

- ①柏木農業高校の活性化のために、魅力ある学校づくりに取り組む魅力コーディネーターをミッションとして活動してもらう予定である。内容については、学校や地域の特色を生かしたカリキュラムの実施、県外からの生徒募集に係る説明会の実施、県内中学校への訪問によるPR、公式SNSやホームページを通じた情報発信などを検討している。
- ②3年間を予定している。
- ③4月から募集を開始し、7月からの採用を目指しているが、近年公募しても集まらない現状がある。魅力化支援業務99万円を計上しているため、柏木農業高校に精通する個人や事業者に委託するという事も考えている。



デジタル田園都市国家構想交付金

中畑 一二美 議員

活用内容は。

答 弁

2つのタイプから構成されており、1つ目がデジタルを活用した地方の活性化や行政サービスの高度化、効率化に資する取組を支援するデジタル実装タイプとして2,173万3,000円を見込んでおり、歳出としてはA I デマンド交通導入運行事業に充当する。2つ目は、観光や農林水産業の振興などの地方創生に資する取組を支援する地方創生推進タイプとして137万3,000円を見込んでおり、歳出としてはClan PEONY津軽の負担金に充当する。





教 育

無形文化財等保存継承事業補助金

北山弘光 議員



- ①対象文化財は何か。
- ②団体の継承計画の状況は。

答 弁

- ①地域で受け継がれてきた伝統芸能を貴重な文化遺産として後世に継承するため、団体の保存継承、公開活動等に対して補助、支援をしている。補助金を交付している団体は全部で6団体。郷土芸能の種類は、獅子踊、荒馬踊り、疫ノ神送り、登山囃子、御関所太鼓などがある。
- ②計画まで求めている。各団体としても現状を維持したい考えはありつつ、取組方法に苦慮していると考えられる。



郷土芸能発表会の様子

県民駅伝競走大会補助金

小野 誠 議員



選手強化の状況は。

答 弁

平川市では実行委員会が主体となり、毎週土曜日に陸上競技場において合同練習会を開催している。補助金は実行委員会の運営費に係る経費のほか、選手編成強化費として練習会や試走会に係る経費や選手のユニホームや小学生のシューズの補助などに支出している。今年の補助金のほかに、県から選手強化費として一律6万円の補助金を頂いている。



英語検定料補助金

小野 誠 議員



- ①増額理由、級、見込み人数は。

中畑一二美 議員



- ②市内の準会場の場所は。
- ③年2回の拡充は、国の目標によるものか。
- ④申請率向上、申込方法の簡易化について。

答 弁

- ①市内小中学生の英語力向上を図るため、学校を検定会場とする場合の検定料を基準とした英語検定料の3分の2を補助する事業となる。受験者の対象を中学生のみから、小学校6年生まで拡大したこと、英検3級と4級を対象としていたが、2級、準2級、5級に拡大したこと、1人年1回を2回に拡充したことが増額との要因となる。3級、4級、5級は210名、準2級と2級は15名を見込んでいる。
- ②市内各4中学校で行われる。
- ③国の目標を踏まえて、対象級も小学生からとし、年2回に拡充している。
- ④申請率向上のため、市内中学校、小学校6年生へのチラシ配付、ホームページでの周知、補助金申請の受付期限のお知らせ配付をしている。申込方法の簡易化について、学校の先生が取りまとめているが、指導課でも受付できることとしている。

社会教育チャレンジ支援事業補助金

山谷洋朗 議員



- ①事業概要は。

齋藤律子 議員



- ②令和5年度の実績は。

答 弁

- ①将来、地域を担う18歳からおおむね40歳までの青年層による社会教育に対する挑戦を目的に、社会教育施設を活動拠点に文化祭などの社会教育事業の企画、実践を支援するもの。補助金額は1事業30万円を限度としており、食料費や高額な備品購入は補助対象外となり、講師料や消耗品、賃借料などが補助対象となる。
- ②青年を募集して事業を実施し、企画は組めたが、事業の実施補助金の支出に至らなかったため、令和5年度の実績はゼロとなっている。

このような審査を経て、平川市議会は

令和6年度各会計予算案を可決しました。



平川市議会会議録

一般質問の全文は平川市ホームページで読むことができます。
インターネットで「平川市議会 会議録」と検索するかQRコードをご利用ください。

一般質問

平川市の財政

人口減少の時代が
目の前です

ふくし みのる
福士 稔 議員

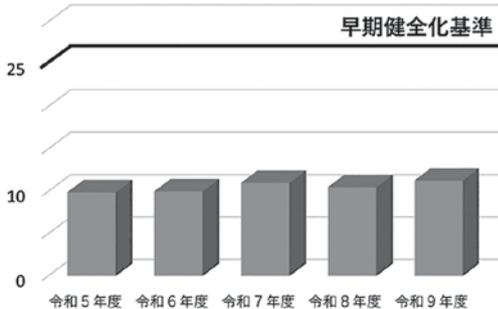


議員 人口が減少した場合の当市の財政について、市の考えは。
答 税収減少となり、地方交付税制度により一定水準の行政サービスの財源は保障されますが、市独自の施策への影響が懸念されると考えます。
議員 今後はあらゆるものが人口減少に特化するかと考える。人口が減少すると、交付金等は減り、産業は衰退、空き家が増

え、限界集落^{※1}が増えること行政サービスが行き届かなくなる。人に重点を置いた財政である必要もあると考える。公債費償還が市税収入を上回る財政運営について、市の考えは。
答 合併直後は大型建設事業が実施できなかったことで、公債費償還が市税収入を下回っていた背景があります。なお、実質公債費比率は令和9年

度がピークですが、早期健全化基準の25%以内と見込まれ、財政上に支障はないと考えます。
議員 市民から頂く市税よりも公債費が上回るべきではないと考える。近隣から見れば、当市は比較的健全な財政と思うが、建物は借金で建てているので、返すお金も考えた不備のない財政運営を望む。

実質公債費比率（令和5年度平川市財政運営計画）



実質公債費比率は早期健全化基準の25%を下回っています

平川市の今とこれから

一般質問



今回は**10名**の議員が質問しました

平川市のいろいろな課題等について、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。

全質問項目は下表のとおりです。

議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋・要約して記載しております。

質問事項	質問議員	ページ
平川市の財政	福士 稔	P6
物流の2024年問題	福士 稔	
学校給食費の値上げ	齋藤 律子	
ふるさと納税返礼品	齋藤 律子	
A1デマンド交通導入運行事業	齋藤 律子	P7
第3次平川市食育推進計画と学校給食の地場産品導入	齋藤 律子	
在宅介護における現役世代の負担軽減	葛西 厚平	
市の防災対策と消防団	葛西 厚平	P7
農業人材マッチング事業	葛西 厚平	
碓ヶ関地域の振興策	葛西 勇人	P8
平川市人事行政の運営等の状況	葛西 勇人	
平川市産米の収益向上への取組	葛西 勇人	
クマ被害の現状と対策	工藤 秀一	P8
宿泊施設の増強と災害に強い地域づくり	北山 弘光	
第2次平川市長期総合プランにおける重点施策の主な事業概要	北山 弘光	
地域ブランド育成	北山 弘光	P9
平川市の地球温暖化対策	佐藤 保	
平川市の子育て支援	佐藤 保	P9
平川市民の健康状態	佐藤 保	
5歳児健診	中畑一二美	
投票しやすい環境整備	中畑一二美	P10
教育問題	中畑一二美	
平川市立小中学校適正配置計画	山谷 洋朗	
小・中学校の生徒指導と進路指導	山谷 洋朗	P10
弘南鉄道の支援	石田 昭弘	
公共施設の点検・修繕及び設備・備品の充実	石田 昭弘	P11

※1 限界集落

限界集落とは、地区の人口の50%以上が65歳以上で、かつ、コミュニティ機能の維持が困難と見込まれる地区。孤立集落とは、災害発生時に外部からのアクセスが不可能となり、生活の維持が困難になる可能性のある集落。

一般質問

市の防災対策と消防団



災害時も地域に住む
消防団員が重要です

葛西厚平 議員

議員 消防団員の募集について、市の取組は。

答 市内企業に対する従業員への入団促進の願いや街頭での消防団員募集活動などを行い、関係機関と協力しながら消防団員確保に努めています。

議員 孤立集落や限界集落の状況は。また、その地域における消防団員の人数の状況は。

答 孤立集落は、平賀地

域の小国・葛川・切明・平六・井戸沢・大木平・一本木・温川の8集落と、碓ヶ関地域の久吉の合計9集落です。限界集落については、令和6年1月末時点で東部地区と碓ヶ関地域において高齢化率が50%を超えている状況です。この地域の消防団員の人数は、東部地区は16名、碓ヶ関地区は19名、古懸地区は15名、久吉地

区は14名です。

議員 消防団員の人数が少ない集落では、災害時土のう、スコップ、その他の備品などの保管場所を町会で把握することが必要と考えるが、市の考えは。

答 東部地区の運営委員会の定期的な会議など、その際に改めて周知して連携を図ります。



市では関係機関と協力して団員確保に努めています

A I デマンド交通導入運行事業



地域公共交通は
まちづくりです

齋藤律子 議員

議員 これまで、紆余曲折を繰り返してきた地域公共交通だが、今度こそ利用者の利便性につながってほしいと考える。今回、運行形態が大きく変わるため、きめ細やかな説明が必要と考えるが、住民説明会をどのように行うのか。

答 市ホームページや広報誌、市の公式LINEによる周知や、乗り方

イドを作成し、市内毎戸に配布することを考えています。要望があれば、小学校区単位などで説明会を開催します。

議員 どのような料金体系とするのか。

答 乗車料金は、道路運送法上、住民等の意見を聞きながら、平川市地域公共交通協議会において協議する必要があるため、現時点では未定です。

議員 観光分野にも利用できるのか。

答 観光施設への設置についても検討を行います。

議員 地域公共交通はまちづくりである。そこに住む人たちの人権を保障しなければ破綻する。市民の利便性の向上と社会的利益、その増進が地域公共交通と考えているので、きめ細やかな計画を策定してほしい。



生活の足を確保する対策のひとつです

平川市の子育て支援



県の給食費無償化事業
とのすみ分けは

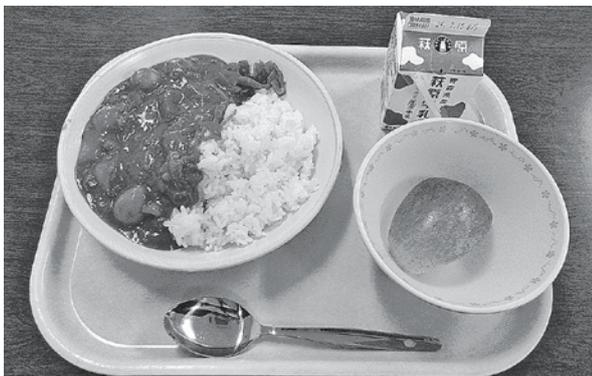
さとう たも保 議員

議員 平川市は子育てしやすいさなんパーワンを旗印に、子育て支援は県内でも一歩リードしていると見ている。県が発表した小・中学校の給食費の無償化は、当市では実施済みであり、支援事業の交付金をほかの事業に充当できると考えているが、現時点の状況は。

答 3月8日の説明会で、既存の市独自の事業へ交付金を充当することを認めていただきたいと申し上げました。知事からは、給食費の無償化をそれぞれの責任で始めた市町村はしっかりと続けることが前提であると考えています。また、今回の交付金は市町村への財政支援の給付ではないため、既存事業への充当はできない。創意工夫をしながら新規事業へチャレンジしてほしいと回答がありました。

議員 既に給食費無償化を実施している自治体は、紆余曲折を経て実施していることから、県は平等に取り扱うべきと考える。当市では次の一手をどのように考えているか。

答 県の給食費無償化事業を他の事業に充当できるのであれば、0歳からの保育料無料化を検討したいと考えています。



当市は新型コロナウイルス感染症の影響から子育て世代を支援するため、令和2年から実施し、5類移行後も継続しています

地域ブランド育成



目玉商品の開発が
急務です

きたやまひろみつ 議員

議員 市の特産品は何であると考えているか。

答 市のふるさと納税の返礼品で人気があるものは、りんご、桃などがあります。市内企業の商品では、シールドルや麺類、りんご酢などがあります。

議員 地域産業振興のために、地場産品を活用し、地域が一体となった商品開発などの取組が必要と考えるが、市の考えは。

答 当市の農産物は高品質であることが強みですが、周辺自治体と競合する品目が多いため、差別化が難しくインパクトに欠ける面があります。地場産品のブランド化は、商品の販売力向上や飲食店への誘客にもつながる重要な取組と考えます。3月末に完成予定の産業振興に係る基本構想に沿ったブランド戦略を進めていく考えです。

議員 農産物を新たな特産品とする場合は育成に時間を要する。民間の方々の創作、開発意欲を引き出すように、レシピコンクールなどで上位入賞したものを特産品として推すなど、いろんな方法があると思う。いろんなものにチャレンジする平川市であってほしい。



地場産品のブランド化は商品の販売力向上等につながる重要な取組です

議長が行く！ 西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会

4月9日、西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会の事務引継ぎを受けました。令和6年度、令和7年度は平川市が事務局となります。

小・中学校の生徒指導と進路指導

信頼関係を構築するために

やまやひろあき
山谷洋朗 議員



議員 生徒の問題行動を未然に防ぐためには、教職員が一丸となつての早期発見、早期対応が重要だと考えるが、当市ではどのような対策を講じているか。

答 全国では問題行動が増加傾向にあります。当市では、横ばいとなつていますが、その要因として、教職員の研修等の成果が挙げられ、研修会での学びを、他の先生方と

共有し、問題行動等への対応に生かしているためと考えます。

議員 学校生活で大切なことは、教師と生徒との良好な信頼関係の構築だと考えるが、信頼関係を築けない要因があると考えれば、何と考えるか。

答 子ども一人一人に対し、人格を持った人間として尊重し、子どもたちのために何をすべきか考

えて職に臨むことができない教師がいることだと考えます。今後も、信頼関係の構築のため、指導・助言をしていきます。

議員 問題行動を未然に防ぐ、早期対応するには、生徒と保護者、教師の信頼関係が鍵を握っている。生徒の名前を素早く覚えるなど、目をかけ、手をかけ、心をかけることで信頼関係を築いてほしい。



問題行動の未然防止と早期発見、早期対応できるよう取り組んでまいります

投票しやすい環境整備

投票支援カードの導入を

なかはたひふみ
中畑一二美 議員



議員 障がい者や高齢者の中には、1人で投票することが難しく、投票の際にサポートを必要とする方もいる。サポートしてほしい内容を事前に記入し、投票所に持ってきてもらう投票支援カードを導入している自治体があるが、当市でも導入してはどうか。

答 当市では、投票所でサポートが必要な方への

取組として、支援してほしい内容をイラストや文字で表したコミュニケーションボードをホームページに掲載しているほか、各投票所に設置しています。投票支援カードは、投票しやすい環境づくりにつながるものであることから、次の選挙から導入したいと考えています。

議員 コミュニケーションボードの利用実績は。

答 青森県議会議員の一般選挙で1件、青森県知事選挙で1件の合計2件です。

議員 投票支援カードが導入されることで、1人でも多くの方が、投票所へ足を運んでくれると思う。投票率向上のために投票支援カードとコミュニケーションボードの周知をしっかりと行ってほしい。



コミュニケーションボードの例

議長が行く！ 国道7号整備促進期成同盟会監査会

4月11日、石田隆芳議長が監事を務める国道7号整備促進期成同盟会の令和5年度事業監査が行われました。当同盟会では、国、県、国会議員へ要望活動を行っています。

常任委員会 所管事務調査実施

安全安心に学べる校舎／物価高騰 における給食提供の施策

教育民生常任委員会

- 参加議員／山谷洋朗委員長、石田昭弘副委員長
小野 誠委員、葛西勇人委員
齋藤律子委員
- オブザーバー／石田隆芳議長

令和6年2月8日に平川市立平賀東中学校、平川市学校給食センターで実施しました。平川市立平賀東中学校では、令和5年8月に完成した改修工事の概要説明を受け、生徒が安全安心に学べる校舎となったかを現地調査しました。壁面の色は、生徒が提案した水色が採用されるなど、生徒が健やかに学べる校舎に改修されたことが確認できました。

平川市学校給食センターでは、昨今の材料費・光熱費高騰の影響を受けながらも、給食費の値上げを抑えられるよう対策が講じられているか説明を受けました。令和6年度は給食費を値上げする予定であるということでした。また、地場産品使用率のさらなる向上を目指すとともに、栄養バランスに配慮した給食を提供しているということが確認できました。



公共施設の点検・修繕及び 設備・備品の充実



早急の対応を

いしたあきひろ
石田昭弘 議員

議員 具体的な事例として、さるか荘温泉施設のシャワーの出が悪いとの利用者の声があるが、対応は。

答 昨年12月上旬に指定管理者より出が悪いとの報告を受け、ボイラーを取り付けた業者に調査を依頼しました。温水を溜めるための装置に不具合が見つかり、大がかりな工事になることから、当

面の処置として、安全面の衛生面を考慮した上で、12月26日より温泉配管をシャワーに接続してご利用いただいています。今後、専門家による調査も考えながら、改善に向けて取り組んでいきます。

議員 平賀農村環境改善センターの調理室にある常備の調理器具は古くて使用できないと利用団体から聞いている。調理器

具の更新の予定はあるか。

答 支障を来しているものは、利用団体から更新の要望が寄せられています。令和5年度では、職員が実際に調査、確認した上で、要望のあったものを購入しています。令和6年度は、冷蔵庫が経年劣化により冷えにくくなっていることが確認されたので、更新する予定です。



平賀農村環境改善センターの調理室



各議案の詳細はこちら

令和6年3月定例会 審議議案とその結果（抜粋）

議案名	結果
人権擁護委員候補者の推薦について	同意
平川市出産祝金条例を廃止する条例案	可決
平川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	可決
平川市監査委員に関する条例及び平川市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
平川市職員定数条例の一部を改正する条例案	可決
平川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決
平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決
平川市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	可決
平川市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決
平川市水道事業給水条例及び平川市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決
市道路線の廃止について	可決
市道路線の認定について	可決
平川市尾上農村環境改善センター「さるか荘」及び平川市ふるさとセンターの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
市有財産の無償貸付けについて（2件）	可決
令和6年度平川市後期高齢者医療特別会計予算案	可決
令和6年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計予算案	可決
令和6年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計予算案	可決
令和6年度平川市水道事業会計予算案	可決
令和6年度平川市下水道事業会計予算案	可決
各財産区一般会計予算案（尾崎、新屋、町居、広船、小和森、石郷、岩館、新尾崎、新館、沖館、葛川、吹上・高畑、原田、碓ヶ関）	可決
令和5年度平川市一般会計補正予算（第10号）案	可決
令和5年度平川市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	可決
令和5年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案	可決
令和5年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算（第3号）案	可決
令和5年度平川市町居財産区一般会計補正予算（第2号）案	可決
令和5年度平川市新館財産区一般会計補正予算（第1号）案	可決

賛否が分かれた議案等	水木	葛西	小野	北山	葛西	山谷	中畑	石田	石田	工藤	福土	佐藤	原田	桑田	齋藤	齋藤	結果
	悟志	厚平	誠	弘光	勇人	洋朗	二美	昭弘	隆芳	秀一	稔	保	淳	公憲	剛	律子	
令和6年度平川市一般会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	可決
令和6年度平川市国民健康保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	可決
令和6年度平川市介護保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	可決
地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	採択
「中小企業支援策の拡充による最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める請願書	○	○	●	○	●	○	●	●	-	●	●	●	●	●	○	○	不採択
平川市文化センター条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 -：採決に加わらなかったもの 議長（石田隆芳）は採決に加わっていません

編集後記

人口減少の問題が取り沙汰されてから久しく、人口減少の主な理由には、未婚者の増加、少子化、若者の流出が挙げられます。

地方の雇用の場を増やし、賃金を上げ、都会から定住する移住者を呼び寄せなければ解決しないの言うまでもなく、雇用創出から魅力あるまちづくりへと環境を整備し、逆に迎え入れ、「若い力と生産年齢人口の確保」を図らなければ、行政サービスもやがては受益者の負担となるの言うまでもありません。

中学、高校の卒業生や大人たちも仕事を求め、県外に出て行くことを一刻も早く止めることが課題であり、国・県の支援は元より、市民一丸となり、よき知恵を出し合い、問題解決していきましょう。（北山弘光）

傍聴してみませんか

市本庁舎4階へお越しください

令和6年 第3回定例会は
9月3日からの予定
開会は10時です
傍聴席の定員は33名

平川市議会広報特別委員会

- 委員長 石田 昭 弘
- 副委員長 中 畑 一 二 美
- 委員 小 野 誠
- 北 山 弘 光
- 山 谷 洋 朗
- 佐 藤 保

請願・陳情は平日の午後5時までにご提出願います。

お問合せは
議会事務局へ

提出方法はここから▶



☎0172-55-5792
(事務局直通)

